

「晩秋の樹木観察研修会」

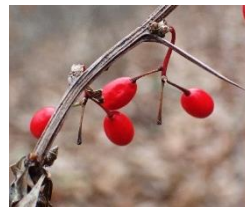
- 1、期 日 2022年11月26日（土）
- 2、場 所 埼玉県民の森
- 3、参加者 池田、久保、岡登、関谷、本田、西田、田崎、藤井、高杉（9名）
- 4、報告者 岡登



11月26日（土）、県民の森駐車場に9時30分集合。天気曇りすぐ雨が降りそうでしたが、後半薄日が差してきました。秩父から霧が立ち上っていました。両神山が近くに見えます。参加者は、9名。講師は、高杉さんです。会の行事の参加は、久しぶりです。ビニール袋に葉を集めます。枯れ葉と冬芽の観察が主になりました。丸山に登りながら興味深いものを次々に観察しました。

以下、当方のメモを記載します。

アオハダの短枝は一節一年。芽鱗は毛で守られているものもある。葉痕に維管束痕がある。横縞の芽鱗痕。**クヌギ**と**クリ**の葉の区別は鋸歯のとげの色。グリーンがクリ、透明がクヌギ。**リョウブ**の枝の張り方は鹿の角状。**サワフタギ**は縦縞の樹皮が特徴。覚えると意外と目につく。**メギ**は、枝にとげがあり別名コトリトマラズ。



【サワフタギ】

【メギ】

ヤマザクラの樹皮は横に筋状となり皮目で呼吸をする。**ツツジ**の仲間は維管束痕が一つ。

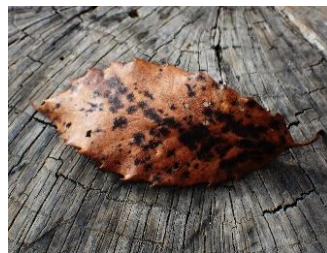
エゴノキの幹は黒っぽい。冬芽には予備芽があり、星状毛が密生する。**オオモミジ**は主脈と側脈の基部に白い膜がある。**ウリハダカエデ**は葉が浅裂。**オオイタヤメイゲツ**の葉の付け根はU字型。**イイギリ**の赤い実。**イヌツゲ**の葉の先は尖り、庭木のツゲは全てイヌツゲ。



【エゴノキ】

ツクバネウツギ、**ツノハシバミ**、倒れている**カエデ**の木を同定。幹の感じが似ている**ウリハダカエデ**か**ホソエカエデ**か？翼果の形も判断の基準になる。**ハウチワカエデ**の葉の基部には毛が密集する。**ヒトツバカエデ**の葉を拾う。**ニシキギ**は茎の翼が特徴。よく似た実のなる木があり、翼が見つからず**コマユミ**かと思っただが、枝の一部に翼があり、やはり**ニシキギ**。**ブナ**と**イヌブナ**の違い。イヌブナの葉には細かい毛があり、側脈も多い。

コナラ、ミズナラ、カシワの実と殻斗や葉を比べてみる。ミズナラは、樹皮が柔らかく、薄く剥げ落ちる。そして葉柄が短い。



【カシワ】

【コナラ】

【ミズナラ】

ヤシャブシ類の同定の仕方。ヤシャブシは、樹皮が荒い。果鱗は扇形(イチョウの葉状)。堅果は幅の狭い翼がある。これでこの仲間の区別が出来る？ヤシャブシ類は、空気中の窒素を取ることができる。茎からもとれるという説あり調べてみる。シデの仲間。果包と堅果の形状で同定する。拾ったものは、**サワシバ**と同定された。花の咲いている草があり、ヒメジソかイヌコウジュか、ガクが鋭いか鈍いかの違いや葉の形も異なるが、少ないサンプルで判断することは危険。等々、なかなか奥が深いです。

教えられた情報で頭はパンパンです。高杉さん、皆さんありがとうございました。また機会があれば、参加したいです。



【ブナ】



【イヌブナ】



【ヤシャブシ】



【サワシバ】



【ニシキギ】



【イイギリ】



【ムラサキシキブ】



【ツノハシバミ】